（様式）

役員などの COI 自己申告書

（2020 ～ 2022 年【7 月 1 日～6 月 30 日】：就任時の前年から 1 年ごとに過去 3 年間申告）

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 理事長 殿

申　告　者　氏　名（会員番号）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（　　）

所属（機関・教室/診療科）・職名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

本学会での役職名：□理事長　□副理事長　□理事　□監事　□学術集会会長　□学術集会幹事

特定委員会名　　：□委員会・部会委員長　□学術集会検討委員会　□編集委員会　□国際誌編集委員会

□診療ガイドライン策定に関わる委員会および執筆者、作製者、協力者、編集者

□倫理・医療安全委員会　□倫理委員会利益相反部会

□本医学会が監修あるいは発行する印刷物、書籍および e-learning を含む教材などの編集者、執筆者、作製者および協力者

□学会従業員　□その他

A. 自己申告者自身の申告事項

1．企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額　（□有　・　□無）

（1 つの企業・団体からの報酬額が年間 100 万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	役 職（役員･顧問など）	金額区分
1			
2			
3			

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上　③1000 万円以上

2．株の保有と、その株式から得られる利益（1 年間の本株式による利益）　（□有　・　□無）

（1 つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上のもの、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載）

	企　業　名	持ち株数	申告時の株値（一株あたり）	金額区分
1				
2				

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上　③1000 万円以上

3．企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬　（□有　・　□無）

（1 つの特許使用料が年間 100 万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	特 許 名	金額区分
1			
2			

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上　③1000 万円以上

4．企業や営利を目的とした団体より、会議の出席（発表、助言など）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などの報酬　（□有　・　□無）

（1 つの企業・団体からの講演料が年間合計 50 万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		

金額区分：①50 万円以上　②100 万円以上　③200 万円以上

5．企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料　（□有　・　□無）

（1 つの企業・団体からの原稿料が年間合計 50 万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	金額区分
1		
2		

金額区分：①50 万円以上　②100 万円以上　③200 万円以上

6．企業や営利を目的とした団体が契約に基づいて提供する研究費　（□有　・　□無）

（1 つの企業・団体から、医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられた 100 万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	研究費区分	金額区分
1			
2			
3			

研究費区分：①産学共同研究　②受託研究　③治験　④その他

金額区分：①100 万円以上　②1000 万円以上　③2000 万円以上

７．企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄附金（□有　・　□無）

（1 つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた 100 万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	金額区分
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上　③1000 万円以上

８．企業などが提供する寄附講座　（□有　・　□無）

（企業などからの寄附講座に所属している場合に記載）

	企 業 ・ 団 体 名	寄附講座の名称	設置期間
1			
2			

＊実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられた 100 万円以上のものを記載

９．その他の報酬（研究とは直接に関係しない旅行、贈答品など）　（□有　・　□無）

（１つの企業・団体から受けた報酬が年間５万円以上のものを記載）

	企 業 ・ 団 体 名	報 酬 内 容	金額区分
1			
2			
3			

金額区分：①5 万円以上　②20 万円以上

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産的利益を共有する者の申告事項

該当する方の□にレをお付けください。

□すべて申告事項無し：こちらにレをお付けの場合は下記項目の記入は必要ございません。

□申告事項有り：下記の該当項目にご記入ください。無い項目には「無」にレを付けてください。

１．企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額　（□有　・　□無）

（1 つの企業・団体からの報酬額が年間 100 万円以上のものを記載）

	該当者氏名	申告者との関係	
	企業・団体名	役職（役員･顧問など）	金額区分
1			
2			
3			

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上 ③1000 万円以上

２．株の保有と、その株式から得られる利益（1 年間の本株式による利益）　（□有　・　□無）

（1 つの企業の 1 年間の利益が 100 万円以上のもの、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載）

	該当者氏名		申告者との関係	
	企業名	持ち株数	申告時の株値（一株あたり）	金額区分
1				
2				

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上　③1000 万円以上

３．企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬　（□有　・　□無）

（1 つの特許使用料が年間 100 万円以上のものを記載）

	該当者氏名		申告者との関係
	企業・団体名	特許名	金額区分
1			
2			

金額区分：①100 万円以上　②500 万円以上　③1000 万円以上

誓約：私の利益相反に関する状況は上記の通りであることに相違ありません。私の日本リハビリテーション医学会での職務遂行上で妨げとなる、これ以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は，社会的・法的な要請があった場合は、公開することを承認します。

申告日（西暦）　　年　　月　　日

申告者署名　　印

（本申告書は、任期満了、あるいは委員の委嘱撤回の日から3年間保管されます）

（事務局記載）

受付番号：

自己申告書の欄が足りない場合に記入出来なかったものについてご記入ください。　　（別 紙）

申　告　者　氏　名　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＜申告事項＞

１．企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額

２．株の保有と、その株式から得られる利益（就任時前年度１年間の本株式による利益）

３．企業や営利を目的とした団体から特許権使用料として支払われた報酬

４．企業や営利を目的とした企業や団体より、会議の出席（発表）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料など）

５．企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料

６．企業や営利を目的とした団体が提供する研究費

７．企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄附金

８．企業などが提供する寄附講座

９．その他の報酬（研究とは直接無関係な、旅行、贈答品など）

申告者 (A・B)	申告 番号	企業・団体名	適用 (役職・特許名・研究費種類など) ＊2の場合は持ち株数および株価を記載	金額区分 (各項目を参照して下さい)

＊記載項目数が足りない場合はコピーしてください。

（様式２）演者の利益相反自己申告書

演者の利益相反自己申告書（演者全員分）

演題名　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

講演日　：（西暦）　　年　　月　　日

演者名　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（演者全員について、講演時から過去 3 年間を対象に、発表内容に関係する企業･組織または団体との COI 状態を演者ごとに自己申告記載

なお、「年間」とは暦年とし、過去 3 年間（足掛け 4 年間）に該当がある場合に「有」としてください。

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1 つの企業･団体から 100 万円以上	有・無	
②株式の利益 1 つの企業から年間 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1 つにつき年間 100 万円以上	有・無	
④講演料 1 つの企業･団体からの年間合計 50 万円以上	有・無	
⑤原稿料 1 つの企業･団体からの年間合計 50 万円以上	有・無	
⑥研究費･助成金などの総額 1 つの企業･団体から、研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が 100 万円以上	有・無	
⑦奨学（奨励）寄附金などの総額 1 つの企業･団体からの奨学寄附金を共有する所属部署（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が 100 万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄附講座 （企業などからの寄附講座に所属している場合に記載）	有・無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1 つの企業･団体から年間 5 万円以上	有・無	

（本 COI 申告書は講演後 5 年間保管されます）

申告日　（西暦）　　年　　月　　日

代表演者　（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式 2A）演題発表の開示様式

日本リハビリテーション医学会 COI 開示
発表者名：xx xx、xx xx、◎xx xx （◎：代表者）

演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業等はありません。

（様式 2B）演題発表の開示様式

日本リハビリテーション医学会 COI 開示
発表者名：xx xx、xx xx、◎xx xx （◎：代表者）

発表者全員一括して

講演料：	○○製薬株式会社
原稿料：	○○製薬株式会社
奨学寄附金：	○○製薬株式会社
寄附講座所属：	あり（○○精機株式会社）

（様式 3）学会誌等へ投稿の報告書

学会誌等：自己申告による COI 報告書

著者名　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

論文題名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（著者全員それぞれが、投稿時点の前の年から過去 3 年間及び投稿時点までの期間を対象に、発表内容に関係する企業･組織または団体との COI 状態を自己申告記載して下さい）

なお、「年間」とは暦年とし、過去 3 年間（足掛け 4 年間）に該当がある場合に「有」としてください。

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1 つの企業･団体から 100 万円以上	有・無	
②株式の利益 1 つの企業から年間 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有	有・無	
③特許使用料 1 つにつき年間 100 万円以上	有・無	
④講演料 1 つの企業･団体からの年間合計 50 万円以上	有・無	
⑤原稿料 1 つの企業･団体からの年間合計 50 万円以上	有・無	
⑥研究費･助成金などの総額 1 つの企業･団体から､研究経費を共有する所属部局（講座､分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が 100 万円以上	有・無	
⑦奨学（奨励）寄附金などの総額 1 つの企業･団体からの奨学寄附金を共有する所属部署（講座､分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が 100 万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄附講座 （企業などからの寄附講座に所属している場合に記載）	有・無	
⑨旅費､贈答品などの受領 1 つの企業･団体から年間 5 万円以上	有・無	

（本 COI 申告書は投稿後所定の期間保管されます）

申告日　（西暦）　　年　　月　　日

著者　　（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式 3A）雑誌等へ投稿の報告書

著者ごとに過去 3 年間を一括して、

COI 開示
著者名 A ： ○○製薬、○○製薬
著者名 B ： ○○製薬
著者名 C ： ○○機器、○○製薬